

完璧な口腔ケアに導くフロス習慣

こだわりの独自繊維が歯間に入り込み
プラークを徹底除去

ダブル繊維

マイクロファイバー&エキスパディングの2種類の繊維を合わせた独自繊維を採用

高い歯垢除去力

576本もの細い繊維を縫って作った糸が歯垢を効率よく絡め取る

ライトワックス加工

必要最低限のワックスを使用しているため、繊維一本一本が歯間で広がる

抗菌剤配合ケース

長く清潔に使用出来るように抗菌剤をケースに配合

イタリア製糸

繊維の名産国であるイタリア製で歯肉にやさしい高品質な糸を採用

フッ素ミント配合

使用後の爽快感を実感できる強ミントフレーバー



艶白[®] デンタルフロス
ライトワックス(Lightly Waxed)
フッ素ミント

Df

内容量 50m

参考患者価格 680円(税抜)



継続可能
サスティナブルな未来のために！

フロスを入れ替えるだけでケースを使い続けることが可能。
しかも、専用ケースは抗菌剤配合で安心。

艶白[®]デンタルフロス専用 詰め替え用フロス

内容量 50m×2個

参考患者価格 980円(税抜)

販売元

Produce and Assist
株式会社 P&A

大阪府大阪狭山市半田2丁目314番地1

☎072-367-7063

月曜日～金曜日 10:00～12:00/13:00～16:00
※12:00～13:00はお昼休みをいただいております

E-MAILなら24時間お問い合わせ受付中: e-ha@p-and-a.jp

Produced by
お口の専門店[®]

繊維の特長

ダブル繊維で高い歯垢除去力を実現

マイクロファイバーとエキスパンディングの特徴の異なる繊維を組み合わせた独自繊維が効率的に歯垢を除去します。

576本もの細い繊維が歯間部で広がり歯垢を絡め取る

フロスによっては繊維の太さと数が異なります。適正な数の極細繊維を束ねることで狭い歯間にも入りやすく、繊維一本一本が広がり、歯垢を除去します。

ライトワックス加工で繊維の刷掃率を最大限に引き出す

細い繊維を一束にまとめて、歯間に挿入しやすくするためにはワックスが必要不可欠です。ただ、ワックスの塗布量が多いと繊維が歯間で広がりません。フロスの効果を最大限に引き出すためにワックスの塗布率は12%まで抑えています。

マイクロファイバー

繊維断面が凸凹しており、その隙間にプラークが絡まることにより除去します。きめ細かく柔らかい繊維を使用しているため歯肉を傷つけにくいです。

エキスパンディング

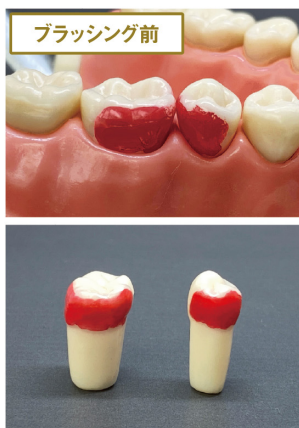
水分や摩擦によって広がるため刷掃面積が大きくなり効率的にプラークを除去します。スポンジ加工のためデリケートな歯肉にも優しくフィットします。

プラーク

歯面

※繊維断面イメージ

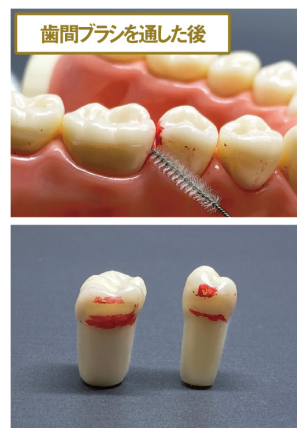
デンタルフロスの重要性



歯面だけでなく普段見えない隠れた場所にもべったりと汚れは付着しています。



汚れがきれいに落ちているように見えますが、歯間部や歯肉の縁には歯垢が残ったままです。

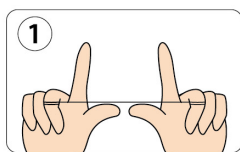


ブラッシングのみと比べると汚れは落ちています、まだ歯垢が残ったままです。

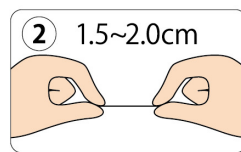


歯間部はもちろん歯肉の縁の歯垢も効果的に落とすことができます。

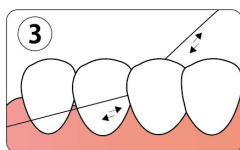
ご使用方法



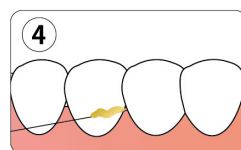
フロスを適度な長さ（約40cm）に切り、左右の中指に巻きつけます。両手の間隔は10~15cm程度がおすすめです。



親指と人差し指でフロスがピンと張るようにおさえます。左右の指の間隔は1.5~2cm程度あげてください。



フロスを細かく動かしながら歯間にゆっくりと挿入します。



歯面を磨くようにフロスを動かしプラークや食べかすを取り除きます。汚れたフロス部分は巻き取り、新しいフロス部分を使用してください。

詰め替え方法

1. 詰め替え用のフロスの包装袋を切り込み口からあけ、フロスを取り出します。
2. ケースのフタをあけてください。
3. 片手でケースのフタを持ち、もう片方の指でケース本体にあるくぼみを押さえつつケースを開けます。
4. ケース内部から空のフロスと詰め替え用フロスを入れ替えます。
5. ケース本体にあるフロス糸の出口（切れ込み）からフロス糸を出した上でケースをとじます。

歯ブラシやワンタフトブラシ、舌ブラシを使い徹底的に磨いても落とせない場所があることはご存知でしょうか。一般的にプラークが作られるまでに24時間、更に歯石になるまで48~72時間とされています。しかも、歯磨きでの歯垢除去率は60%が限界とされており、40%は口腔内に残ったままになります。

これが歯石の原因になったり、むし歯や歯周病の原因になったりします。特に歯ブラシではなかなか落とせない場所が歯と歯の接地面です。今回は実際にホワイトボードマーカーを使い試しましたが、ブラシだけではしっかりと落ちず歯垢を模したホワイトボードマーカーのインクが残り、このこと実を知った時は本当にショックでした。

これまで完璧だと思っていた歯磨きがブラシの能力限界から完ぺきではなかったと知りました。しかし、フロスを正しく使うことで100%に限りなく近づけると知り、今後は皆様にもぜひフロスを使い歯垢を落とすとしていただきたいと思います。ただし、使い方を間違ってしまうと逆に歯肉を痛めてしまうこともあるので、使い方をよく読んで正しく使いましょう。

歯垢除去率を限りなく100%に近づけるための口腔ケア習慣にデンタルフロスを是非お使いください。